

## 38. 高知県 (Kochi Pref.)

作成者: 海地節雄<sup>1)</sup>; 協力者: 川島保夫・荒川 良

作成日付: 2003年5月

今回 ランク	判定 方法	前回 ランク	種 名	現在も安定して発生している 産地 (市町村)	現在減少傾向にある産地 (市町村)	絶滅したと考えられる産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考(対策・文献など)
EX	ウ	E	オオウラギンヒョウモン	-	-	構原町(四万十川)	1958年8月の記録あり	道路開発	今後の調査が必要あり
EX	ア	EX	クロシジミ	-	-	東津野村	1934年8月1 日の記録が唯一の記録	道路開発・環境変化	四国の蝶p.157に記録あり
EX	ウ	E	シルビアシジミ	-	春野町(徳島県産の放蝶である。竹東正, 1992)	南国市	1975年10月頃までは発生していた。1985年以降の採集例なし(竹東正)	河川工事・道路改良工事	今後の調査が必要あり。ミヤコグサの種子を河川にまく
EN	ソ	R	ウラナミジャノメ	土佐清水市	室戸から足摺岬にかけ発生地が点在していた。どこの生息地も絶滅寸前	高知市(逢坂峠)	1975年頃までは高知市にも生息していた。生息地の山が崩壊した	どの生息地も国道に近接しているため、排気ガスの影響が考えられる	-
EN	オ	-	ウラギンスジヒョウモン	-	高知市一宮大坂山	-	-	生息地の開発, 山の崩壊, 車公害	今後, 食草等の調査が必要あり
EN	ツ	-	シータテハ	-	物部村, 大豊町, 土佐山村, 池川町	-	1975年頃は多数の個体がウツギに飛来していた	本食樹のハルニレは高知県にはないので, 調査が必要である	ハルニレの植樹(物部村)
EN	ク	-	アカシジミ	-	高知市	高知市(筆山)	-	車公害(排気ガス), コナラ大木の弱体化	高知市(北山)の環境維持
EN	タ	R	アイノミドリシジミ	-	大川村, 物部村, 本川村, 土佐町	-	高知県では大変少ない種である。1975年頃大川村で採卵されたが, 現在は産しない	森林伐採・道路近代化による車公害(排気ガス)	ミズナラ大木を残すよう行政指導が必要
EN	シ	R	エゾミドリシジミ	-	大川村, 本川村, 物部村	-	-	森林伐採によるミズナラ大木の減少	-
EN	オ	V	タイワンツバメシジミ	土佐清水市	室戸周辺(崎山台地)	高知市近辺(桂浜, 長浜)	-	道路改良工事, ヒノキなどの植林, 車公害(排気ガス)	今後の発生に注意
EN	ソ, ツ	R	ギンイチモンジセセリ	-	大豊町梶が森, 池川町	-	1991年6月28日大豊町梶が森にて, 竹東正氏採集	梶が森自動車道の近代化, 交通量の増加, アスファルト化	山頂への車両乗り入れ禁止
EN	オ, ツ	V	ヘリグロチャバネセセリ	-	葉山村	-	1976年頃から, 確認できていない	スキの草刈り廃止, 農薬散布	-
EN	ソ, ツ	V	チャマダラセセリ	-	仁淀村, 東津野村, 大豊町, 土佐町, 伊野町, 構原町	高知市(円行寺)	高知市では1974年8月の記録のみ。構原町では1991年7月に採集記録あり	牧場が閉鎖されたため, 人手が入らなくなった。食草のミツバツチグリ, キジムシロの減少。道路のアスファルト化	今後各地の発生には注意する必要がある。標高の高い牧場等に生息している可能性がある
EN	オ, ク	R	オオチャバネセセリ	-	吾川村, 大豊町, 室戸市, 高知市	-	県内の多くの生息地から姿を消した	車公害(排気ガス), ササ原の減少	-
VU	タ	-	ツマグロキチョウ	-	土佐清水市, 宿毛市, 佐川町, 土佐市, 高知市, 野市町, 室戸市, 東洋町など	-	-	道路工事等による食草の減少, 環境悪化。車公害(排気ガス)	-
VU	カ	R	クロヒカゲモドキ	-	大豊町, 本川町, 大川村, 越知町	-	-	車公害(排気ガス)	-
VU	カ	R	キマダラモドキ	-	大豊町梶が森	-	高知県では梶が森において昔から採集されているが, 近年激減している	自動車の交通量の増加。道路のアスファルト化による生息地の温暖化	-
VU	カ	-	ミスジチョウ	物部村	東津野村, 大豊町, 池川町, 本山町, 土佐山田町	-	高知県ではもともと少ない種である	山岳自動車道の開通。車公害(排気ガス)	谷沿いのカエデ大木の保護
VU	カ	E	ルーミスジジミ	-	-	窪川町森が内	1963年以降の記録なし	森林伐採	東洋町野根周辺における調査の実施(目撃情報あり)

38. 高知県 (Kochi Pref.)

作成者: 海地節雄<sup>1)</sup>; 協力者: 川島保夫・荒川 良

作成日付: 2003年5月

今回 ランク	判定 方法	前回 ランク	種 名	現在も安定して発生している 産地 (市町村)	現在減少傾向にある産地 (市町村)	絶滅したと考えられる産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考(対策・文献など)
VU	コ	R	ウラキシジミ	-	大川村, 土佐町, 本川村, 北川村, 土佐山村(工石山, 三辻山)	大川村(大坐礼山)	大川村では1973年に記録あり	トネリコの大木が生育する環境が減少した	-
VU	ケ, タ	R	キリシマミドリシジミ	越知町横倉山, 土佐山村工石山	土佐清水市今ノ山, 西土佐村黒尊	-	1962年の発見当時, 横倉山において多数採卵された。現在, 採卵は困難である	森林伐採, 道路工事	アカガシ大木を残すよう行政指導が必要(越知町)
VU	ス	-	メスアカミドリシジミ	物部村	大川村, 大豊町	-	-	大川村, 大豊町のヤマザクラの老朽化	サクラの植樹
VU	カ	R	ヒサマツミドリシジミ	-	本川村, 大川村, 土佐町, 土佐山村, 物部村	馬路村	1934年馬路村の記録あり(四国の蝶p.150)	森林伐採	ウラジロガシの大木を保護する
VU	ケ	V	ベニモンカラスシジミ	-	物部村	-	-	食樹キビノクロウメドモキ, コバノクロウメドモキの減少	食樹キビノクロウメドモキの保護
NT	キ	R	ミカドアゲハ	室戸市, 安芸市, 南国市, 高知市, 土佐市, 中村市, 土佐清水市など県下太平洋沿岸地域一帯	-	-	山間部の町村では発生が少ない年がある	オガタノキの伐採	高知市天満宮, 潮江中学校, 要法寺の3箇所。昭和18年4月24日天然記念物指定
NT	ト	R	ツマジロウラジャノメ	-	本川村, 大川村, 池川町	-	多数発生していた瓶ヶ森林道が1991年自動車道となり, 排気ガスにより個体数が激減	-	発生地の自動車の乗り入れ禁止
NT	ト	R	オオムラサキ	-	高知市近郊	-	-	エノキ大木の伐採による減少	エノキの植樹, クヌギ林の創造(成虫の餌場作り)
NT	ト	-	ホシミスジ	物部村	高知市(小高坂山, 大坂山)	-	-	高知市では生息地の崩壊	物部村産は別亜種とされたが, 2化目は一般型となる。高知市大坂山産のは特大型となる
NT	サ, ト	-	メスグロヒョウモン	-	高知市, 土佐山田町	-	1975年頃から里山から山間部へ生息地が移行した	ツマグロヒョウモンの生息拡大に伴い, 食草(スミレ類)の競合・農薬散布	-
NT	キ	-	ウラゴマダランシジミ	室戸市, 高知市, 香美郡	高知市小高坂山, 物部村	-	2002年少なから確認した	高知市小高坂山が墓地化された。生息地の破壊	生息地が民有地のため行政指導が困難である
NT	サ	R	オナガシジミ	-	大豊町梶が森(1990年代の発見)	-	-	山道の開発, 車公害(排気ガス)	食樹オニグルミの大木の保護
NT	タ	R	ウラクロシジミ	-	本川村, 大川村	-	-	道路改良工事, 森林伐採	谷沿いに生育するマンサクの保護
NT	サ	R	ミヤマカラスシジミ	物部村	土佐町黒丸	池川町?	1964年頃は少なからず採卵できた(池川町)	林道工事。もともと食樹コバノクロウメドモキが少ない	現状環境の維持
NT	チ, ト	-	スギタニルシジミ	物部村	大豊町梶が森	-	-	車公害(排気ガス)	トチノキの大木の伐採禁止
NT	チ, ト	V	クロツバメシジミ	-	大豊町梶が森, 物部村	-	-	農薬散布	食草ツメレンゲの増殖

1) 〒782-0051 高知県香美郡土佐山田町楠目1425